

## 2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年3月24日
研究・研修課題名	感染制御に関わる“抗酸菌エキスパート”“感染制御認定薬剤師BCPIC: Board Certified Pharmacist in Infection Control” “感染制御認定臨床微生物検査技師ICMT: Infection Control Microbiological Technologist” の新規資格取得のための講習会参加
研究・研修組織名(所属)	感染制御部(所属: 副病院長 感染制御部部长 総括責任者: 廣瀬 昌博)
研究・研修責任者名(所属)	佐野 千晶(所属: 感染制御部副部長および ICT リーダー)
研究・研修実施者名(所属)	・伊藤 昌子(感染制御部専従看護師) ・大仁田哲修(薬剤部 薬剤師)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( )
該当者名(所属)	研修実施者に同じ
学会名(会期・場所)、認定名等	成果欄に記載
演題名・認証交付元等	認証機関を成果欄に記載
取得日・認定期間等	資格取得状況を成果欄に記載
診療報酬加算の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有(感染防止対策加算1) <input type="checkbox"/> 加算無

## 目的及び方法、成果の内容

## ① 目的

近年、感染制御活動は、患者および病院職員の安全を確保するために重要性が高まっている。本院は、特定機能病院承認ならびに診療報酬感染防止対策加算Ⅰを算定し、本年より抗菌薬適正使用支援加算を新規に受けるべく体制強化を図っている。院内感染制御活動は、医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務職等が、多職種チームでそれぞれの専門性を発揮して実践されており、特にアウトブレイク防止には、コメディカル専門家の経験・実力・初動によるところが大きい。質の高い院内感染対策の継続のために、活動内容から鑑みて一定数の有資格者が活動することが必要である。本申請では、感染制御分野での専門性発揮を希望するコメディカル職員が、感染制御の新規資格取得に関わる講習会・学会に参加し、専門的知識や技術を向上することを目的とする。

## ② 方法

病院の感染制御活動は組織横断的で、多職種連携があってはじめて達成されるものであり、それを担う職員は感染制御に関する優秀なエキスパートであることが求められている。その専門性を担保する資格の新規取得には、職種によって要件は異なるが、3回以上の講習会・研修会の参加があつて、はじめて申請が可能となる。本課題は、感染制御に関わる資格の新規取得を希望するコメディカルが、資格取得のため1年に1回の学会または講習会に参加費および旅費を用途として申請するものである。3職種各々1名までとする。複数の参加希望者があつた場合は、研修実施責任者が、職種ごとの1名を選出する。

## ③ 成果

日時：2019.6.7～6.8

氏名：伊藤 昌子

資格：感染制御に関わる“抗酸菌エキスパート”

資格運営母体：日本結核病学会

学会・講習会名：第94回日本結核病学会総会

シンポジウム(障害教育セミナー)、エキスパートセミナー、教育講演など受講し、結核・抗酸菌

薬についての理解を深めた。

日時：2020.2.1

氏名：大仁田哲修

資格：日本感染制御認定薬剤師 BCPIC (Board Certified Pharmacist in Infection Control)

単位取得

資格運営母体：日本病院薬剤師会

学会・講習会名：令和元年度感染制御専門薬剤師講習会

不明熱への抗菌薬適正使用」や「整形外科領域における抗菌化学療法など感染に関する情報を学んだ。